



令和5年市議会9月定例会が、9月4日から25日までの22日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要施策について、表原市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

プレミアム付き商品券

国内の物価をめぐる状況は、政府による消費者物価指数（本年7月時点）として、生鮮食品を含んだ総合では令和4年度比として2・6%上昇と見込まれています。

加えて、レギュラーガソリン全国平均小売価格が最高値を更新するなど物価高騰は生活のあらゆる面に及んでおり、国においてもこうした現状を危機感を持って受け止め、9月末に期限を迎える予定であった「ガソリン価格高騰に対する激変緩和措置」、「電気・都市ガス料金激変緩和措置」を年末まで延長する方針が打ち出されています。

本市としても、こうした市民生活を脅かす急激な物価高騰に対し、市民の皆さまの暮らしを少しでもお支えするため、国の対策に呼応し、本市独自の生活支援策として、これまでに例のない手厚い内容でプレミアム商品券の発行を行っています。

具体的には、プレミアム率を75%、発行数は6万5000冊と過去最大規模としており、国の交付金を活用しながら市費を追加投入して、跡地の活用が困難となった中で、地元の皆さまからの具体的なご要望を、私自身大変重く受け止めています。

「本跡地」については、公民館駐車場用地としての活用を含め、長生地区の将来的な地域活性化に資する土地であると捉えています。保育用地の候補地としては、その形状が不整形であり、公民館の駐車場機能に加え、保育用地としての活用については多面的な検討が必要となつてまいります。

そうしたことから、「本跡地」の確保、購入について、早期にJAとの話し合いの機会を持ち、まずは「用地売却の意向確認」を行うとともに、市としての活用方法について課題整理の上、用地利活用策の検討を行うにつつ、JAアグリあなん様と前向きな話し合いを行ってまいりますと考えています。

はじらっ介護予防促進事業

「いきいき100歳体操」や「あなんサロン」等地域の通いの場において、血管年齢測定および骨密度測定を行うために、市内の高齢者お世話センター6カ所に「血管年齢測定器」と「骨密度測定器」を配備し、高齢者お世話センターの保健師または看護師が地域の通いの場に出向き、測定や健康に関するアドバイスを行ってまいります。

高齢者が身近な場所で健康チェックを受け、自らが健康状態を意識し、積極的な介護予防活

より多くの市民の皆さまに支援が行き渡るよう取り組んでまいります。

在宅育児応援デジタルギフト発行事業

在宅で育児をされている保護者への支援として、県の補助事業の「とくしま在宅育児応援クーポン事業」が、令和4年度まで実施されてまいりました。この県の補助事業を発展的に継承する事業として今回「在宅育児応援デジタルギフト発行事業」を実施します。

本事業は、従来の所得要件を廃止するとともに、対象児童は2歳児までであったものを、満1歳から満5歳までと対象を拡大し、就学までの切れ目のない、子ども・子育て支援の充実を図ります。支給対象としては、令和5年4月1日以降において、満1歳から満5歳の誕生日時点で在宅で育児をされている支給要件を満たした保護者を対象とし、児童の誕生日ごとの申請に基づき給付を行います。

具体的には、申請者はスマートフォンから、必要事項を入力の上、電子申請します。市は申請者動への参画を促し、「丈夫な骨と柔らかい血管で歩む人生100年時代」をキャッチフレーズとして、高齢者の健康保持に効果的な取組を推進してまいります。

那賀川町大京原会館

令和2年6月から大京原会館分館に事務所を移し業務を行っています。施設規模から利用者や地元関係者の皆さまにご不便やご心配をおかけしており、地域の皆さまからも早急な対応を求める声をいただいています。

当該エリアにおいては、人権問題に取り組む施設として大京原会館をはじめ、会館分館および教育集会所が立地しており、施設の集約化についても公共施設個別計画等に基づく検証を行い、現状の課題解決に向け、現在、教育集会所と分館を集約し、既存施設を売却して同敷地内に建築する方向で、地元関係者と協議を重ねています。

今後は、施設整備にあつたての国補助金の活用等について検討を行うとともに、まずは利用を中止した大京原会館の解体除去にむけて具体的なスケジュールについて精査し、地元関係者や施設利用者等のご意見もお伺いしながら、地域の交流拠点となる開かれたコミュニティセンターとして利活用でき、加えて、洪水時等にも「指定避難所」としての機能が果たせる施設として整備するよう進めてまいりますと考えています。

スマートフォンにURLを送信し、申請者がこの画面のURLをタップしますと、申請者のスマートフォンに、提携のお店で使用ができる電子マネーが給付されるという、デジタルギフト発行事業であります。

この事業の実施により、在宅育児支援を充実させるとともに、市役所に行かずとも、自宅で申請ならびに受け取りもできる、行政手続きのオンライン化を実現します。

JAアグリあなん「旧長生支所跡地」

JAアグリあなん旧長生支所については、支所統廃合による閉店後、遊休施設となっていました。現在は更地の状態で、工事車両駐車場として貸与されていると伺っています。

一方、長生公民館駐車場は、大変狭隘でイベントを行うたび混雑し、住民の皆さまにはかねてよりご不便をお掛けしているところであり、また、老朽化が著しい本庄・長生両保育所の統合整備に関しては、長年にわたり地元関係者にご尽力いただいたきた課題であり、サンダイヤ

「阿南市民間提案制度」および「かもだ岬温泉保養施設」

公民連携による市民サービスの向上や業務の効率化、地域経済の活性化、財政負担の軽減など地域課題の解決を目的に、「阿南市民間提案制度」を創設しました。

現在、公共施設の有効活用に関する提案9件、カーボンニュートラルに資する提案5件、広告およびネーミングライツに関する提案1件の計15件の提案をいただき、交渉権者の選定に向けて内容の審査を進めているところがあります。

審査の上、採択した提案について、提案事業の実現に向け詳細協議を進めていく予定としており、阿南市民間提案制度の第一弾となる事業の公表に向け、引き続き精力的に取り組んでまいります。

「かもだ岬温泉保養施設」は、かもだ岬温泉保養施設運営審議会からの「既存施設のさまざまな利用形態を含めた民間への移管、売却、譲渡等について、方針を決定され、具現化に取り組んでいただきたい」との答申を踏まえ、本年度「阿南市民間提案制度」が創設されたことに伴い、民間事業者からのより幅広い事業提案を求めていくことが可能となりました。

こうしたことから、今後の在り方についても、民間提案制度の活用による公民連携手法の導入可能性について鋭意検討を深めてまいりますと考えています。